

1	相川	頌子	大企業では新規学卒女性をどのように採用しているのか——採用におけるジェンダー不平等の解明にむけて
2	合場	敬子	なぜ女子高生は制服のスカートを短くするのか？
3	青木	聡子	地方都市におけるキャンパスリブの展開——東北大学生理用品無料設置要求運動の担い手に着目して
4	浅川	達人	人口減少社会における格差拡大の進行過程とその社会的帰結に関する研究——(1)プロジェクトの概要および社会地区分析結果の報告
5	浅野	幸子	ジェンダー視点から見た能登半島地震の被災と支援——被災地の社会変動も踏まえて
6	東	園子	1960年代の現代やくざ映画とジェンダー
7	アブドゥラシイティ	アブドゥラティフ	日本社会における少数言語の言語継承について——日本在住ウイグル人を中心に
8	阿部	晃成	被災者の生活再建と被災地の復興過程における集落自治の可能性と課題——能登半島地震における”集落支援型調査”の実践より
9	有田	伸	紙媒体によるパネル調査をウェブ調査に転換すると何が可能となるのか——東大社研パネル調査プラスの挑戦(1)
10	有馬	恵子	京都出町のエスノグラフィ——エスノグラフィという方法、あるいは「アート」と「バザールワールド」について
11	有賀	ゆうアニース	国際移動経験と変容するアイデンティティ——ミックスの若者へのインタビュー調査から
12	安藤	究	トルコにおける1950年代、1980年代生まれの成人期への移行とケア役割の予期——『ライフコースと世代』の再編に関する比較家族史的研究プロジェクト報告(2)
13	池岡	義孝	卒業後の人生を振り返る——長期にわたる学卒コーホートのパネル調査分析(3)
14	池	周一郎	子育て支援とTFRの不都合な関係
15	池田	隆英	「人間形成」をめぐる言説の地平・領野——科学言説としての「全体の布置」の描写
16	池田	岳大	親が子に行かせたい大学の条件——ヴィネット調査を用いた検討
17	池田	緑	ポジショナリティにおける事実性をめぐる問題——ポジショナリティをめぐる社会学的課題(1)
18	池田	梨恵子	AI・自動化技術の導入による労働者の職務・働き方に及ぼす影響——Global Partnership on AI Future of Work 日本調査事例より
19	石島	健太郎	戦後神奈川県における貧困障害者の就労——自営と従業先の規模に注目して
20	石田	賢示	調査対象者によるメールアドレス登録の分析——東大社研パネル調査プラスの挑戦(2)
21	石田	健太郎	子どもの認知地図発達と歩行——身体化された思考としての歩くこと

22	石田	幸生	A social well-being study on the impact of childhood relationships and family on human development
23	石原	英樹	同性愛に対する態度変容の背景——可視性と包摂性に着目して
24	石丸	灯	日本の福音派若年信徒の恋愛をめぐる葛藤
25	磯	直樹	読むことの空間の分化と文化資本——ブルデュー派混合研究法の可能性(3)
26	市村	高志	原発事故からの復興過程における富岡町民の認識圏・生活圏・構想圏の交錯(4)——広域避難者の住民登録に関する分析
27	伊藤	るり	在仏フィリピン人家事労働者の「脆弱性」、そのもうひとつの顔——フィリピン海外雇用政策の〈グレーゾーン〉
28	糸数	温子	よりよく生きるために遊ぶ——「ホームレスがサッカーすること」を支援するNPOの象徴闘争
29	稲葉	年計	EITC(Earned Income Tax Credit)の考察
30	井上	智晶	美術実技系学科卒業後の表現活動継続の状況とその性差
31	猪又	梓	応答的自由と応答の相関マトリクス(Matrix of Responsive Correlations: Azusa Matrix)による自由概念の再定位
32	今田	高俊	デジタル民主主義による「2100年脱炭素社会」の未来デザイン——AIを用いた仮想社会調査・実験試論
33	WEI	QINGYU	感情労働への期待・疎外と感情的負担——在日外国人の職場経験に関する質的分析
34	ウォータース	めぐみ	現代イギリス社会における「平等」と「多様性」の発展展開と背景——現代法制度と周辺に見られる、社会の構成と理念・運用の変化
35	鶴飼	孝造	A Description of Social Movement from the Perspective of Critical Realism
36	宇田川	拓雄	学生に大人の生活術を教える米国の大学の新しい授業「大人入門」に関する社会学的研究
37	打越	文弥	Strategic Adaptation——How Occupational Licensure Mitigates Women's Marriage, Motherhood, and Migration Penalties in Employment and Wages in Japan
38	内田	賢	災害と「多様性」——宮城県の女性団体による実践から
39	梅村	麦生	不変の未来と可変の過去——組織の時間志向と時間意味論
40	浦野	慶子	暴力被害の予防に資する防災教育の変化
41	栄沢	直子	校区まちづくり協議会の役割展開——那覇市の事例
42	恵羅	さとみ	建設産業における移住労働者の拡大と産業労使関係の変容

43	遠藤	優太	学校推薦型・総合型選抜によるアスピレーション抑制効果——メリトクラシーの拡大と高校入学後の挽回
44	及川	怜	ワークライフバランスと合理性——育児中の共働き世帯を対象とした質的研究
45	王	婧瑜	親密性をプログラムする: 会話型AIサービスにおける関係性のデザインと制御——Global Partnership on AI Future of Work 日本調査事例より
46	王	婷	Spouse Emotional vs. Instrumental Support: Moderating Effects on the Relationship Between Parenting Stress and Mother's Mental Health in Japan
47	大久保	元正	外国人技能実習制度(2)技能実習生が働く職場での共生に関する仮説形成の試み
48	大澤	卓也	ゲーム依存に関する分析——「ゲーム」に関する研究史からの考察
49	大島	隆	「周辺」からみる多文化時代の「日本人」アイデンティティ——外国人集住地域における「境界」形成過程と要因
50	大谷	通高	「男の生きづらさ」の取り扱いについての論点整理と検討
51	太田	有子	地域産業の資源ガバナンス——陶磁器業の地域比較分析
52	大友	由紀子	環境保全型農業を推進する女性農業者の育成支援制度——オーストリアの先進事例
53	大森	駿之介	「地方」における「非異性愛の女性」のアイデンティティ・親密性・コミュニティ——東北地方在住者のライフヒストリーから
54	大山	治彦	メンズリブ研究会の活動とその意義
55	岡崎	宏樹	作田啓一はウェーバーをどう読んだか?
56	岡村	逸郎	スクール・カースト概念をめぐる文化的な闘争——ガガガ文庫と『このライトノベルがすごい!』を事例として
57	岡村	圭子	ローカル・ネットワークの生成と拡張——地域を支え、地域に支えられる団地
58	岡本	武史	職場の安全・健康の確保と雇用吸収・維持のトレードオフ関係の変容——第2次産業での労災防止政策の実証及び精神的健康保護の制度的課題から
59	小川	和孝	ライフコースを通じた個人の文化の変化と安定性——Change and Stability in Personal Culture over the Life Course
60	小川	真理子	ポジショナリティの視点からみたDV被害者と支援者の関係——ポジショナリティをめぐる社会的課題(3)
61	於	倩	日本における自殺対策政策のロジックと変容——『自殺対策白書』にみる内閣府と厚生労働省の「原因と対策」の語られ方を通じて
62	小野寺	修	地域社会に根ざした多文化共生の可能性と課題——宮城県石巻市における住民インタビュー調査から
63	歸山	亜紀	確率的オンラインパネルの実践(3)——Webと郵送における自由記述回答の差異に関する探索的検討

64	郭	文静	翻訳業界におけるAI翻訳導入の課題とジレンマ——Global Partnership on AI・Future of Work日本調査事例より
65	笠井	敬太	男性小児がん経験者の「性にまつわる」病の経験
66	笠原	良太	衰退産業における労働者の子どもの学歴・職業移動——高度成長期の「炭鉱の子ども」に関する事例研究
67	粕谷	健太	いかにして個人は社会を体験するか——ゲオルク・ジンメル「体験(Erlebnis)」概念を手がかりに
68	加藤	このみ	受刑者による表現はいかに成り立っているのか——カナダの刑務所演劇に着目して
69	加藤	穂香	1958年-1986年の『女性自身』における「働く女性」
70	金井	聡	「居住支援」を再考する
71	金子	洋二	ふるさとワーキングホリデーの課題解決に向けた試論——新潟県南魚沼市の事例分析より
72	神野	久美子	労働者は誰を目指すのか？——航空会社における、自己啓発を事例としたインタビュー調査研究
73	上林	千恵子	外国人労働者受け入れと労働組合の対応(1)——UAゼンセン2021・2024年外国人雇用調査にみる職種分布
74	上村	太郎	戦後の少女向けメディアは同性愛をいかに教えたのか——『女学生の友』『ジュニア文芸』の分析から
75	雁部	那由多	被災者に寄り添うとはいかなることなのか——「能登を去る」選択をする被災者の事例調査から
76	河原	優子	海外における日本のポピュラーカルチャーのファン実践——二次創作文化に着目して
77	河村	則行	市営住宅における社会的不利の集積と集合的効力感——名古屋市緑区のM団地を事例にして
78	河南	真衣	「居場所」に來ないことは問題と言えるのか？——それだけではない可能性をひらく試み
79	神林	博史	過去の健康問題が現在の社会経済的地位と生活に与える影響——ウェブ調査データを用いた分析
80	菊池	隆聖	なぜ都市の土地に農業が必要とされるのか——: 公有地の農的利活用に関する研究
81	喜多	加実代	不平等や差別の認識とポジショナリティ——ポジショナリティをめぐる社会学的課題(5)
82	吉川	徹	地方大卒ホワイトカラー層のライフコース追跡研究
83	金	兌恩	韓国高齢女性の就業変化からみる高齢夫婦の家事分担
84	木村	裕貴	上位大学卒業生男女の結婚過程——長期にわたる学卒コーホートのパネル調査分析(4)

85	木村	豊	占領期日本の風景と日常をめぐる歴史社会学——GHQの写真・映像資料を用いた調査を通して
86	桐谷	詩絵音	互いに見知らぬ人々による集合的な空間変革——都市社会学の新たな研究領域としての可能性
87	轡田	竜蔵	地域間格差と移動格差——京丹後市と兵庫県における若者調査を中心とした考察
88	工藤	麗奈クリスティン	日本とフィリピンにルーツを持つ者の帰属意識に関する研究——モビリティと親族関係のダイナミックスの観点から
89	具	弦俊	世代間の階層移動が排外主義的態度の形成に及ぼす影響
90	久保	慶子	国家による戦没者追悼のゆらぎ——千鳥ヶ淵戦没者墓苑の創設
91	栗原	真史	「生きている選択」としての都市再開発——プラグマティズム的観点からの検討
92	GURUNG	Binit	Navigating Gender Norms through In-person and Online Interviews
93	クレシ	サラ好美	「周辺」からみる多文化時代の「日本人」アイデンティティ——ムスリム二世世代の経験から
94	黒川	すみれ	戦後日本における女性のライフコースの変容——職業経歴の世代間比較による検討
95	毛塚	和宏	若者は性交渉から遠のいたのか——「出生動向基本調査」集積データを用いた性交渉経験の有無の推移確率の推定
96	洪	逸飛	「政治的公共圏の新たな構造転換についての考察と仮説」におけるハーバーマスの熟議民主主義論の展開
97	神山	英紀	未婚化のなかの夫婦分業の解消と“新規”分業の進行
98	小玉	亮子	幼児教育におけるジェンダーバイアスに関する研究——保育者と保護者の関係に注目して
99	呉	知恩	日本語教師の国家資格化と地域の日本語教室の運営への影響
100	小西	凌	母子世帯の実親同居に関する規定要因とその心理的ディストレスへの関連
101	小林	和夫	日本占領期ジャワにおける「南方科学」の制度化——ジャワ科学技術室の調査・研究を事例として
102	小林	盾	貧困によってパートナー形成に不平等があるのか——シングル、恋愛、同棲、結婚の系列分析
103	小林	大祐	確率的オンラインパネルの実践(2)——コロナワクチン接種回数情報を用いた無回答誤差の検討
104	呉	恵如	When the 'Patient' is Exclusively Male: Examining Gender Politics in Emergency Medical Training in Taiwan
105	西條	辰義	フューチャー・デザイン——将来可能性、現在可能性、過去可能性

106	三枝	七都子	「混在的なケア」の動態的展開——富山型デイサービスを試みる新規事業者の語りから
107	坂井	晃介	機能分化論の再検討
108	榊原	賢二郎	健康問題としての障害尺度——障害者に関する社会統計を巡る健康・障害概念の再定位
109	坂口	真康	Teaching and Learning regarding 'Unity in Diversity' in Society
110	坂部	晶子	社会主義的近代化推進期における中国女性の労働参与についての研究枠組みの検討
111	佐川	宏迪	「青春」概念はどのように用いられてきたか——フィクション作家コミュニティの語りを中心に
112	崎濱	佳代	南米系日系人による沖縄伝統芸能実践の社会的な位置づけについての一考察
113	崎山	治男	声の感情労働——コールセンターに注目して
114	崎山	航志	個人VTuberとしての労働——「何者か」になるための過重労働と搾取の体制
115	笹尾	珠希	HSP (Highly Sensitive Person) 当事者による「繊細さ」の意味とその内面化過程
116	定松	文	ポジショナリティの視点からみるジェンダー意識と移民に対する意識——ポジショナリティをめぐる社会的課題(2)
117	佐藤	彰彦	原発事故からの復興過程における富岡町民の認識圏・生活圏・構想圏の交錯——(1)研究・調査の概要
118	佐藤	慧	高度成長期における過密居住と持ち家志向の関連——1970年政府調査の二次分析から
119	佐藤	典子	高齢社会におけるポストコロナの看護職の働き方 日仏比較考察
120	佐藤	祐菜	「ハーフ」概念を超えて——マイノリティ同士のミックスのアイデンティティ形成
121	澤井	志保	社会運動としての「社会企業」？——香港で働いたインドネシア人家事労働者帰還者の事例から
122	澤田	雅斗	健康・医療 / 労働・交通・産業政策における睡眠障害対策の過程と睡眠障害像の発展——健康づくりの睡眠対策と医療課題としての睡眠障害政策との比較を起点に
123	SANGMUKDA	Poonavich	新自由主義移民政策下における移民たちの適応戦略——技能実習と特定技能の事例から
124	司	博宇	Diet, Disparity, and Depression: Animal-Derived Food Consumption and Psychological Well-being among Older Adults in Urban and Rural China
125	篠原	清夫	教師対象の調査票調査における課題と留意点に関する一考察
126	澁谷	理子	クルド人集住地域における複数の線引き——クルド人支援団体が開く日本語教室の記録から

127	嶋崎	尚子	1960年代後半出生コーホート女性のライフコース実現と受容過程——長期にわたる学卒コーホートのパネル調査分析(5)
128	嶋根	克己	Funerology構想におけるSociology of Funeralの役割
129	志水	洋人	技術の日常化と社会的問い——医工連携系研究開発事例を通して
130	下窪	拓也	移民の影響認知と反移民的態度のばらつき
131	下山	颯	Rule-followingの観点からパーソンズ『社会的行為の構造』を読む
132	謝	卓然	市営住宅団地集会所における「3食堂」の連携とその社会的効果——名古屋市緑区M荘の事例として
133	周	標	文化的プロセスと象徴的境界からみる進路選択——新たな理論枠組構築の可能性
134	庄司	武史	試論『清水幾太郎日記(仮称)』を読む——清水研究の今後と新資料の可能性
135	白井	望人	友情結婚の語りとイデオロギー——ロマンティックラブに抗する実践の言説分析
136	白波瀬	佐和子	高齢期における孤独感に及ぼす富の影響
137	申	在烈	韓国における育児ケアプラットフォームの登場に伴う育児ケア労働の変化
138	末田	隼大	不確かな未来とどう向き合うのか？——バーバラ・アダムの時間論に注目して
139	杉野	勇	確率的オンラインパネルの実践(1)——パネルの維持管理と変遷
140	杉山	怜美	未婚成人女性と同居する親との関係に対する文化的要因の影響に関する検討
141	鈴木	恭子	ジョブの不平等と男女賃金格差
142	鈴木	謙介	スマートフォン依存要因の検討
143	鈴木	将平	胎児治療において母子に期待されている役割——脊髄髄膜瘤の外科的治療から考える
144	鈴木	崇広	石炭産業における季節夫の移動と労働力調整——本州東部・西部炭田の事例分析
145	鈴木	祐啓	テレビの「送り手研究」再考——動画配信という「新規事業」に着目して
146	巢内	尚子	移住ケア労働者のプレカリティとエイジェンシー——日本の介護部門におけるベトナム人労働者の就労実態と抵抗実践
147	清家	久美	社会学への存在論的視点の接合可能性について——社会存在論・新実在論・批判的実在論の比較研究

148	宋	円夢	質的調査における「一般化」概念の考察——邦書・英書の質的調査教科書の比較を通じて
149	園部	ニコル	Assessing Multicultural Awareness and Attitudes in Japan
150	大日	義晴	生活保護制度における「処遇のスティグマ」の実際
151	高木	俊之	スコットランド啓蒙のアメリカ社会学における意義——コロンビア大学の系譜
152	高木	竜輔	原発事故からの復興過程における富岡町民の認識圏・生活圏・構想圏の交錯(2)——帰還者の人間関係と生活課題
153	高瀬	詩穂美	他人とも共在できる開かれた住まいはどのように成立しうるのか——神戸市長田区の多世代型シェアハウス「はっぴーの家ろっけん」を事例として
154	高橋	一得	バーにおける「飲み手」の成立——大正期から昭和前期の言説分析を通して
155	高橋	健太郎	国内農村部への地方移住者による地域活性化活動の実践と精神はどのように形成されるか
156	田川	隆博	アイドルドキュメンタリー配信は何を映すか——裏局域のコンテンツ化をめぐる
157	武田	俊輔	ライフスタイル移住した女性たちにとってのジェンダーをめぐる困難とそれに対する戦術——滋賀県長浜市・旧木之本町に移住した女性たちを事例として
158	武田	尚子	近代イギリス地方自治と救済資源——ヨーク救済連合区における院外救済連合の位置づけ
159	竹松	未結希	制度的空間における「関係性」はどのように形成されるのか？——更生保護施設在在所者同士の「出会い」に着目して
160	駄田井	久	外国人技能実習制度(1) 外国人技能実習制度を活用したベトナムにおける有機農業の展開可能
161	巽	真理子	現代日本の父親の子育てと職場・家庭におけるジェンダー規範——世代による違いに注目して
162	田中	重人	公開ヤミ統計——2007年新統計法下のマイクロデータ二次利用と統計の真実性
163	田邊	浩	料理人の技はいかにして身につく、いかにして継承されるのか(1)——食をめぐる職人的実践の構造と変容
164	田邊	佳美	越境する社会運動空間とマイノリティのネットワーク——2010年代フランスにおける交差性の政治と実践
165	谷	公太	大都市圏の外縁部はいかにしてそのように位置づけられるのか——東京圏の〈限界地〉を手がかりとして
166	種田	博之	HPVワクチン勧奨接種の一時停止から再開という転換
167	玉川	貴子	葬祭関連業務を担う人々の死別体験と就業経験の捉え方——葬儀業界で働く人々への調査から
168	玉利	智子	Robotic Drawing and Embodiment——Human-machine Collaborative Artistic Practice

169	近森	由佳	大学休学・留年経験者の質的研究——両者の経験に対する意味づけの差異に着目して
170	知念	涉	ブルデューの階級分析と日本社会論——その接合可能性を探る
171	Zhang	Menglu	Conceptualising the 'Outside': Parental Migration and Social Mobility Among Left-Behind Children in China
172	江	彦生	Whom Do Repressors Target in Social Networks?
173	趙	冠華	無形文化遺産における担い手の変容に関する考察——「和紙: 日本の手漉和紙技術」の事例から
174	張	潔	The Impact of COVID-19 on Employment Status and Social Mobility of Chinese Highly Skilled Workers in Japan
175	張	紫萱	中国における女同士の友情に対する意味づけ——オンラインエスノグラフィーを通して
176	張	篠叡	Blending In or Standing Out
177	張	瑜淳	「ヤングケアラーの社会問題化」を問い直す——ヤングケアラー政策の「少子化対策」化
178	張	亮	「中国模式」という概念の誕生と拡散——『烏有之郷』のネットユーザーの言説実践に着目し
179	陳	怡禎	ファン文化が動かす社会運動——台湾「青島運動」と「国会議員大リコール運動」を事例に
180	塚田	祐介	30代後半独身女性の職場環境とメンタルヘルス不調のプロセス——当事者の語りから見る職場環境の影響
181	都島	梨紗	矯正施設出所後の自己の回復プロセスはどのように達成しうるか——若年当事者の「暮らし方」の工夫に注目して
182	辻	竜平	地酒の「地産地消」と地域間関係
183	筒井	久美子	特攻の記憶はどのように残されてきたのか——第一・第二国分基地を事例として
184	筒井	淳也	大病経験と職業キャリア——長期にわたる学卒コーホートのパネル調査分析(6)
185	角田	燎	戦後民主主義と元軍人の政治参加——軍人恩給をめぐる運動とその社会的意義
186	鶴巻	泉子	「《ジタン家庭児童》の事例から見る学校内セグリゲーション」
187	董	鎧源	在日中国人男性同性愛者の生活実態と複合的差別経験——ウェブ調査に基づく考察
188	徳宮	俊貴	見田宗介における「交響するコミュニン」の3面相
189	豊島	伊織	「子ども食堂」言説における諸フレームのせめぎ合い——2012～2024年の資料の分析から

190	轟	亮	確率的オンラインパネルの実践(4)——メディア利用と政治意識の関連
191	富永	京子	ハウジング・ムーブメントとしてのシェルター・コミュニティスペースの研究——空間形成による自治が「安全」と「共生」にもたらす影響
192	友枝	敏雄	フューチャー・デザインの可能性——社会学にいかなる貢献をするのか
193	豊永	耕平	学校経由の就職は本当に平等なのか？——自由応募との比較からみる就業機会の不平等
194	鳥居	勇氣	壮年期における努力-報酬不均衡と世代内職業階層移動
195	NAIK	ANIRUDDHA	The making of Scientist in School Science Textbooks: A case study of a regional State in India
196	中江	桂子	ネットワークとしての民芸——地域文化を活かす社会関係資本の考察
197	永岡	圭介	外来者を後継者として捉える意味——F. テンニエスによる「客人」概念に着目して
198	中川	雄大	戦後日本を再建する——非都市部におけるブロック建築のポストコロニアル的背景とセルフビルド
199	中西	祐子	ミソジニーの構造——誰が「男性差別／女性優遇」と考えるのか
200	中林	基子	介護保険制度の変遷とケアマネジャー業務の変化
201	中原	慧	移民の子どもの学力に関する研究——
202	中村	健太	安全メカニズムによる統治から考える福祉国家の現状——福祉国家とポスト福祉国家の狭間はいかに埋められるか
203	中村	真由美	既婚男女の出生意欲の規定要因——世代を超えた影響と性格特性
204	中森	聖奈	女性ファンコミュニティにおける排外主義受容過程
205	永吉	希久子	技能実習生の受け入れルートの形成における国イメージの影響——監理団体調査の結果から
206	那須	蘭太郎	職業威信の多次元的構造——評価者による異質性と時代的变化の検討
207	那波	泰輔	世代における平和博物館への来館過程——わだつみのこえ記念館に着目して
208	鍋倉	咲希	「捉えがたい」存在としての恒常的な移動生活者——愛媛県「みかんアルバイト事業」における地域とのかかわりを事例に
209	二階堂	裕子	外国人技能実習制度(3) 祭りのなかの外国人技能実習生と地域社会
210	西尾	知耀	自営業への参入における学歴差の趨勢——従業員の有無に着目した分析

211	西田	尚輝	植民地主義の社会学のアプローチと多方向的記憶の概念
212	仁科	薫	ポジショナリティの視点から考える育児の現状——ポジショナリティをめぐる社会学的課題(4)
213	西野	理子	同窓からの人生形成——長期にわたる学卒コーホートのパネル調査分析(1)
214	新田	真悟	高齢者家族の資産不平等——その趨勢と国際比較
215	仁平	典宏	社会サービス供給における地域への移行(不)可能性に関する検討——市区町村社会福祉協議会調査を中心に
216	丹羽	宣子	「日本仏教とジェンダー」の現在地——SDGsゴール5「ジェンダー平等を実現しよう」は仏教界内部にも十分に向けられているか
217	額賀	淑郎	医学研究の研究対象者選定を評価する委員会の実践ルール
218	布川	由利	中学校社会科公民的分野「財政」の授業における「社会的な見方・考え方」の実践
219	野邊	政雄	中山間地域の農村に住む高齢女性のきょうだい関係——岡山県高梁市宇治町と松原町の事例
220	野村	駿	地方での夢追い／地方からの夢追い——バンドマンの音楽活動をめぐる都市・地方比較分析
221	馬	浩楠	カミングアウトを「しない」不自由について——性的マイノリティ研究に従事する者を中心に
222	橋迫	瑞穂	1980-90年代における胎教・育児本のスピリチュアリティ
223	橋本	大輝	環境配慮商品に関するナラティブ広告が人々のグリーン購入行動に及ぼす影響の調査
224	バスマノワ	クセニア	日本現代のフェミニズム・アート: 受容と批評
225	長谷川	拓人	ヤングケアラーを地域でどう支えるか?——埼玉県ヤングケアラーサポートクラスの取り組みから
226	長谷川	翼	外国人労働者受け入れと労働組合の対応(2)——UAゼンセン2021・2024年外国人雇用調査にみる雇用・組織化状況の推移
227	韓	在賢	韓国系ニューカマー第二世代が大学進学に至る過程
228	平石	貴士	スポーツ空間分析とインタビュー調査から見るスポーツ参加の不平等の分析——ブルデュー派混合研究法の可能性(2)
229	平野	寛弥	生活保護制度に伴うスティグマの再検討——概念の分節化を通して
230	平原	幸輝	人口減少社会における格差拡大の進行過程とその社会的帰結に関する研究——(2) 所得推計結果の報告
231	平山	満紀	デジタル化と若者の性的非活発化——2008年と2020年代のインタビューのナラティブの変化

232	福永	玄弥	国家、資本、再生産——ポスト同性婚時代の台湾にみる「クィア家族」の形成とホモキャピタリズム
233	藤井	亮佑	死の消滅に抗する技法——クリスチャン・ポルトンスキーの作品を事例に
234	藤澤	三佳	ミード、デューイ、トマス理論とアート表現
235	藤本	一男	『ディスタクション』第2章を読みながら多重対応分析の可能性を考える——ブルデュー派混合研究法の可能性(1)
236	藤本	昌代	AI利用組織における働き方の変化の過渡期現象——Global Partnership on AI Future of Work日本調査事例より
237	船戸	修一	山村集落をめぐる「他出子」と「他出子の子ども」それぞれの関わりの差異——浜松市天竜区佐久間町Z集落を事例として
238	ベドウ	ジェイ マイケル	“Circling the Wagons”: Social Perceptions and Stigma Among Investment Bankers in Japan
239	平安山	八広	相互行為の前提としての「性別を持つこと」の用いられ方——会話における性別カテゴリーの言及に注目して
240	ト	新哲	「高度人材」の影にある現実:日本のIT業界における中国人派遣労働者の制度的ジレンマ
241	星	鉄雲	八王子空襲を記録する運動と行政——
242	ポンサピタック サンティ	ピャ	アジアのテレビ広告におけるジェンダー役割——日本・中国・台湾・韓国・タイ・シンガポールの国際比較研究
243	品治	佑吉	短期大学の時代・試論——戦後日本における女子高等教育と教養
244	前田	一步	「開発の連鎖」を断ち切るための協働——沖縄県竹富島の住民自治組織とリゾート組織の関係
245	俣野	美咲	3世代にわたる学歴の再生産——祖父母からの経済的資源の移転に着目して
246	町村	敬志	実践経験としてのエスニック・メディア——接触領域の「耕し方」とその継承のかたち
247	松井	勇人	エフェクチュエーション。パイの奪い合いからパイを作り出す起業へ。——因果論から、縁起論へ。客観の科学から主観の科学(現象学)へ。
248	松井	樹丸	価値観と諸制度の共進化——LGBTに関する諸国の規範形成を事例として
249	松永	伸太郎	マネジメントの仕事はいかにして創造的表現に関わるのか——アニメ産業における制作進行のワークの分析
250	松端	祐介	弱いコミットメントで紡ぐ住民主体の地域福祉活動——自治体における地域福祉の新たな展開
251	松村	淳	廃材が資源になるとき——空き家リノベーションにみる価値生成の社会過程
252	松本	隆志	マルセル・モースの「贈与」の再検討——「供犠」という観点から

253	真鍋	一史	社会科学における統計的技法の応用研究の方略——MeulemanとBillietの「宗教的関与の研究」の批判的検討を踏まえて
254	真鍋	知子	料理人の技はいかにして身につき、継承されるのか(2)——料理人調査のデータ分析から
255	MICHALOVA	ZUZANA	清潔感ある身体像に関するジェンダー差の考察——雑誌と自己啓発本のテキスト分析を通して
256	三須田	善暢	満州開拓慰霊碑の管理と継承について——岩手県の事例を中心に
257	三隅	一人	ただ乗りを社会関係資本として活用する地域コミュニティの可能態
258	MITCHELL	Andrew Neil	Building Inclusive Disaster-Resilient Communities in Japan
259	三輪	哲	首都圏大卒者における中高年期に至る社会経済的格差の軌跡——長期にわたる学卒コーホートのパネル調査分析(2)
260	麦山	亮太	20世紀日本の世代間学歴移動——父親と母親の影響力は変化したのか
261	村上	あかね	パネル調査にみる中期親子の経済的・非経済的援助行動——東大社研パネル調査プラスの挑戦
262	百瀬	由璃絵	デュアルキャリアカップルの二体問題(Two-body problem)
263	森川	ゆり子	求人広告の性別語彙と賃金期待
264	森	啓輔	歴史社会学と抗議イベント分析の射程
265	森	泰規	生活者の「よい企業」の評価にみる象徴闘争
266	諸岡	了介	コロナ禍下において緩和ケア病棟が果たした役割
267	安田	雪	祇園における親密性と記憶のエスノグラフィー——老舗バーを媒介とした都市的ネットワークの観察
268	柳川	大貴	「周辺」からみる多文化時代の「日本人」アイデンティティ——「日本人」をめぐる朝鮮半島系の「オールドカマー」移民の語りを事例に
269	柳下	実	学術論文からみる家事労働研究の動向:2014年-2024年
270	柳田	愛美	育児休業取得経験が男女の家事に与える影響
271	山内	智瑛	夜間経済に「到達」する——日本における<ナイトタイムエコノミー>概念の成立
272	山口	和紀	反差別運動における「自己決定」概念の再検討——大仏空の思想／マハラバ村の実践を手がかりに
273	山崎	哲	「周辺」からみる多文化時代の「日本人」アイデンティティ——中国帰国者における「日本人」「中国人」の境界交渉実践を事例に

274	山下	泰幸	密室で働くこと——フィリピンの女性英語講師のジェンダー暴力の経験
275	山田	唐波里	日本における「人口の自然性」の展開
276	山根	真理	韓国における1950年代、1980年代生まれのケア経験と世代間関係——『ライフコースと世代』の再編に関する比較家族史的研究」プロジェクト報告(1)
277	山本	薫子	原発事故からの復興過程における富岡町民の認識圏・生活圏・構想圏の交錯(5)——転入者の意識と動向
278	山本	耕平	住宅所有と主観的ウェルビーイングの格差
279	山本	夏生	SNS空間に見る専業主婦とワーママの分断の日米比較
280	横山	智樹	原発事故からの復興過程における富岡町民の認識圏・生活圏・構想圏の交錯(3)——避難者の「通い」に関する分析
281	横山	恵子	The Transformation of Higher Education Governance from Neoliberal to Multi-Stakeholder Governance in Australia, Japan and the United Kingdom
282	吉岡	篤司	大学紛争における丸山眞男批判における新視点についての一考察——メリトクラシー(能力主義)への反発を中心として
283	吉田	崇	子育てスタイルの階層差とその世代間関連——3世代調査の分析
284	米川	尚樹	新自由主義的移民政策と都市における移民包摂の再編——イギリス・ルイシャム区の事例から
285	LI	Gordon C	The Cultural Hierarchy of Music in China
286	LEE	HANSOL	育児責任と専門職女性の労働時間——JGSS-LCSを用いた職種・性別比較分析
287	LI	HUIFENG	Understanding Fatherhood and Masculinities: The Case of Gay Men via Surrogacy in Urban China
288	李	雯雯	日本における中国籍移民の家族形成と就業
289	陸	麗君	中国におけるシティ・リージョン形成と地方政府——長江デルタ地域都市圏一体化の事例から
290	李	妍炎	日本の市民セクターを捉える新たなレンズ——市民的コモンズ概念のリアリティと論点
291	Rosenberg	Qiaoyan Li	Liberal Reform of Guest Worker Program
292	ROLAND	ALEXANDRA	The role of the Kawasaki Fureaikan in the development of a Japan with less prejudice, discrimination and hate
293	魯	ゼウオン	韓国・釜山市の地域資源としての朝鮮通信使の社会的意味
294	若林	千夏	相談支援分野に女性が中途参入すること——養成施設の教員へのインタビューから

295	和久井	碧	認定 NPO 法人クリエイティブサポートレッツの「表現未満、」プロジェクトに関する一考察
296	和田	吾雄彦アンジェロ	ナイトワークと解釈労働——在日フィリピン人ホステスの事例から
297	渡壁	晃	ナショナルなものとしてのダークツーリズム
298	和田	伸一郎	X(旧Twitter)データにおける「アクター・ネットワーク」の「結節点」となる語彙の可視化手法に関する比較検討——「単語埋め込みモデル」とt-SNEを用いたアプローチ
299	和田	知之	マジョリティからマイノリティへの移行——現代ドイツにおける改宗ムスリムの経験から
300	和藤	仁	「やりたいこと」言説は若者に何をもたらしてきたか——社会的背景の変化に着目して